

ぶな

2021年9月号

NO.510



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

<目 次>

「目 次」	1
「巻頭言」	2
【例会山行案内】	
・ 雨乞岳（9月19日）	3
・ ちょこっとシリーズ 東ヶ谷山（10月2日）	4
・ 登山祭典兼秋の公開山行 マキノ赤坂山～三国岳～黒河峠（10月24日）	5
・ ～交流登山～第22回比良山系飲み水水質調査・第7回放射線測定山 （10月31日）	6
【講座報告】	
・ 夏原グラント第2回市民環境講座（7月18日）	7～9
【個人山行報告】	
・ 鷲ヶ岳（7月22日）	10
・ 北アルプス最深部 黒部五郎～雲ノ平（7月21日～25日）	11～12
・ 滋賀労山 CSS 白滝谷沢登り（8月1日）	13
・ 岳沢～前穂～奥穂～徳澤園（7月31日～8月3日）	14～15
・ 北穂高岳	16
【寄稿】	
・ 新型コロナウイルスに関する最近の状況	17
【定例会報告】	
・ 第4回リーダー部会（8月17日）	18～19
・ 9月予定表	20

＝ 表紙の写真 ＝

三俣山荘から槍ヶ岳を望む

2021. 7 撮影：K嶋氏

巻 頭 言

H 池

この夏、アルプスの山に行くことはハードルが高かったと思います。コロナ流行で例会がなく、その上不安定な天気、個人山行で少人数で天気を見計らって行くしかない。幸い私は8月に北穂高岳に行くことができました。この号で報告を載せてもらっています。巻頭言とあわせて見て頂けたらと思います。と書きながら何だか釈然としない気持ちです。「個人で行きました。楽しかったです。」という報告は例会の報告がたくさんあってその後に載っているべきなのではないのかと。

コロナ流行で例会が企画できないのだから致し方無い、流行が収まったら以前のよう賑やかに例会ができるようになる～のでしょうか。

今まで雪稜会では、ほとんどの例会が自家用車利用でした。登山口まで行ってくださり、荷物も積んでおくだけで楽チン。車を出して運転してくださる方のおかげでアプローチが大変な山にもたくさん連れて行ってもらいました。コースもペース配分もリーダーが行き届いて計画してくださっていました。コロナが収まったら、またこんなことをしてもらうことが可能なのでしょうか。

会員の高齢化や、事故リスクの問題もあり、今までのような自家用車利用が難しくなってくると思います。今回の北穂山行では、体力に自信がない上、長距離運転も無理なので、公共交通機関を使いました。京都駅から名古屋駅まで新幹線、名古屋駅から松本駅まで特急しなの号。JRのジパング倶楽部に入っているので通常運賃の3割引きです。

また、天候が不安定で例会企画が長期的に立てにくくなってきていると思います。例年雪があるはずの時にスノーハイクを計画しても比良山が真っ黒なんてことが、ここ数年めずらしくありません。臨機応変に計画したり、計画を延期したりできる個人山行の方が楽とってしまいます。

でも、やっぱり例会を会員みんなに呼び掛けてこそその山岳会。そうなると、これからの例会は、今までよりファジーで、不確定な企画でもいいのではないかと思います。現地集合とかタクシーの相乗りとか、直前の計画や延期はメールで知らせるなど。

JRのジパングを使ったり、実施日を臨機応変に設定したりと現役世代には難しいこともありますが、多様で柔軟な例会企画がコロナ終息後に出てきたらいいなと思います。

<例会山行案内>

雨乞岳

御池岳に次ぐ鈴鹿山脈第2の高峰、雨乞岳に武平峠から登ります。東雨乞岳の山頂は展望が良く360度見渡せます。その先の雨乞岳へは素晴らしいクマザサの尾根を往きます。

日時 9月19日(日) 堅田駅7時集合

(コース)

堅田駅集合7:00=武平峠西口駐車場9:00~クラ谷分岐10:30~

七人山のコル~東雨乞岳12:00 昼食~雨乞岳13:00(往路を戻る) 武平峠15:30

=堅田駅17:30

体力 ★★★☆☆

技術 ★★★☆☆

担当 H島

締切 9月13日

<例会山行案内>

ちょこっとシリーズ

東ヶ谷山 657.3m

湖北の中央分水嶺です。麓に山門水源の森という湿原があり、低山ながら変化を楽しめそうです。湿原の花のトップシーズンではありませんが、秋の花が少し見られるかもしれません。静かな山をゆっくり楽しみませんか？

日時 10月2日(土) 8:30 和邇河川敷

<コース>

和邇河川敷＝山門水源の森駐車場 9:45～守護岩～東ヶ谷山～椿坂
～駐車場＝15:30 和邇河川敷

☆車の手配ができない場合は、公共交通機関を使います。

☆車の場合、和邇駅への迎えが必要な方は、お知らせください。

☆新型コロナウイルス感染対策、各自よろしくお願いします。

レベル 体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆

持ち物 水、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、スリング、カラビナ、マスク、消毒薬、その他日帰り装備

担当 K藤

締め切り 9月26日(日)

<登山祭典兼秋の公開山行案内>

マキノ 赤坂山～三国岳～黒河峠

… びわ湖眺望と紅葉が楽しめます …

日 程：2021年 10月24日(日) 雨天中止

コース：堅田駅=(貸切バス)=小野駅・和邇駅・近江今津駅=マキノ高原駐
車場～栗柄越～赤坂山～明王ノ禿～三国岳～黒河峠～黒河林道峠
入口=(貸切バス)=マキノピックランド=近江今津駅・和邇駅・小
野駅・堅田駅 歩行 約5時間半

集 合：JR 堅田駅7:00 小野駅7:10 和邇駅7:15 近江今津駅8:00

交 通： 貸切バス

参加費： 会員・会友・会員家族：2500円

 会員の友人・知人：3500円 (バス代・保険代)

定 員： 40名 (定員になり次第締切)

担当&申込先： 西村高 tel&fax 077-594-0454

eメール：kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

※野点はいりません。(新型コロナの感染予防のため)

※集合は堅田駅・小野駅・和邇駅・近江今津駅のいずれか。

秋のメイン行事です！

会員は今から予定しておいてください。

友人・知人にも早めに声掛けください。

野点はありませんが、賑やかで楽しい山行としましょう！

<例会山行案内> ～交流登山～

第22回比良山系飲み水水質調査・第7回放射線測定山行

今年、滋賀県内の他会の方も参加できる「交流登山」に指定されました。
また、「夏原グラント」の助成を受ける事ができました。

長い間当会が続けている自然保護活動のひとつです。他会の方との交流ができるチャンスですし、南比良峠で両コースが会えるかどうか楽しみですよ！！

是非予定を空けて参加ください。

10月31日(日) 7:00 和邇川河川敷

<コース>

1班 大橋スリバチの水方面

採水3ヶ所

2班 荒川峠方面

採水3ヶ所、放射線測定11ヶ所



※この事業は平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」の助成を受けて実施しています。

<講座報告>

夏原グラント 第2回 市民環境講座 参加報告

7月18日(日) 13:30~16:30

参加者：N村高・K藤

会場：ピアザ淡海305号室(県立県民交流センター)

講師：脇田健一氏(龍谷大学教授 専門は社会学 夏原グラント選考委員)

テーマ：“活動を元気に続けていくためのポイント”

話を聞くだけだろうと気楽に思っていたら、違った。

会場は4~5人ずつの指定されたテーブルに着く。K藤さんは別のテーブル。

脇田氏は話題提供などの話の後、今日は「ワールドカフェ」を行うと宣言!

「ワールドカフェ」とは何のこっちゃ? 初めて聞く言葉で面食らった。

「カフェのようなリラックスした雰囲気です。4~5人の会議。メンバーを入れ替えて話を続けていく。」という意味の説明。進め方は以下のとおり。

第1ラウンド：短い自己紹介の後、

テーマについて自分の体験や感じていることなど、自由に話をする。

カフェマスター(女性はミストレス)を決める。座長のようなもの。

他の人は「旅人」として、20分で他のテーブルへ移動。

第2ラウンド：改めて自己紹介。

マスター(ミストレス)が自分のテーブルでの対話の内容を説明。旅人は自分のテーブルで出たアイデアなどを紹介し、対話を楽しむ。 20分

第3ラウンド：旅人は元のテーブルに戻り、旅で得た考えやアイデアを紹介しながら更に対話を楽しむ。

持ち寄った考えやアイデアを整理してゆく。 20分

第4ラウンド：各テーブル毎にマスター(ミストレス)が整理したものを発表する。 20分

私のテーブルは「ヒガンバナを復活させる堤防環境保全活動」や「ササユリの里づくり活動」「絶滅危惧種や希少種の海浜植物(ハマヒルガオ・ハマゴウ・ハマエンドウ)を守り、増やす活動」をされている団体など5名。(全部で12テーブル位?)

全員が少しずつ話すが、20分はあつと言う間に過ぎる。皆の声を聞き、まとめるのは難しい。マスターは最も若い方(大学院生?)が受けてくれた。

移動したテーブルで清掃登山のことを話すと、「オランダ堰堤周辺の環境を守る会」の方がおられ、“清掃登山に参加したことがある”と反応してくれた。

よく出てきたワードは、「健康」「資金」「広報」「理解」「やりがい」「喜び」「子供」。共感する発言としては、“楽しくなければ続かないし、家族みんなが元気でないと。” “リーダーはグイグイ引っ張るタイプよりも、世話役・裏方タイプの方がよいのでは。” “リーダーは大事だが、呼びかけ屋さん・繋ぎ屋さんの存在が必要で重要。” “「私」を超えた「私たち」で考える。” “無理はしないし、ノルマもなし。”など。当会の「三方良し」に相通じるのではと思う。

いろいろなグループ、団体と知り合える良い機会だったが、慌ただしくて交流を十分深められなかったのが残念であった。 < 報告：N村高 >

夏原グラント交流会の報告

N野

夏原グラントの交流会が2021年8月5日(木)のピアザ淡海滋賀県立県民交流センターで開催され、N野とK藤氏が参加した。夏原グラントを受給している13団体の19名としがNPOセンターから4名が参加した。

団体アピールタイムとして、各団体のアピールポイントを2分間で紹介した。続いて、選考委員の辻村先生よりミニレクチャーがあり、琵琶湖の外来生物の除去作業や滋賀県の食文化、さらに次の世代の育成についての話があった。

テーブル交流(その1)として4つのテーブルに分かれてそれぞれの団体のアピールポイントや実施割合さらに問題点などについて、それぞれ説明して討議した。

「コミュニティねっとわーく高島」では森の再生や炭焼きに関する事業を行っており、炭原木のナラやクヌギの森づくり体験や炭焼き体験会を開催して森林に関わる様々な人と企業の活動を学ぶ勉強会やネットワークづくりを行っている。

「林業女子会(α)京都(花背支部)」では女子大学生が林業に関心を持って集まっており、京都の林業に関わる人たちと交流を深めて女子のチカラで林業を盛り上げたいと頑張っている。花背・南丹・和東の京都府内のメンバーが中心となり京の茶室文化や数寄屋建築を支える木のツアーの開催や、実際の林業についての講習会やチェーンソーアートクラブの開催など若者の林業への関心を集める活動を行っている。

テーブル交流(その2)として、4つのテーブルのメンバー交代を行って、それぞれのテーブルで各団体の運営面で嬉しかった事やアピールポイントと問題点について討議した。

「まるやまの自然と文化を守る会」では琵琶湖のよしを利用した自然保護活動を行っており、よしを利用した様々な商品の開発を行っている。琵琶湖のよしの群生地も年々減少しており、よしを守ることが琵琶湖の浄化に繋がるので今後よしを守る活動を続けていきたいとの事。

NPO法人「自然観察指導員京都連絡会」では特定外来生物の北アメリカ原産のキク科多年生草本の「オオハンゴンソウ」の駆除を行っている。京都花背地区の河川敷などで大群落を形成しており、今後の駆除活動として学習会の開催や啓発用看板の設置、さらに市民ボランティアによる駆除活動を行って活動を進めている。

今回、夏原グラント交流会に参加して感じたことは、若い大学生たちが環境問題に関心を持ち、それぞれの団体の特色を生かして真剣に取り組んでいる姿に希望を持てた。

<個人山行報告>

鷲ヶ岳 (1671.5m)

日 時：2021年7月22日（祝） 曇り時々晴のち夕立

参加者：N尾・N野・S藤・K原・I井・N田 計6名(車2台)

行 程：大津～高鷲 IC～林道～いっぷく平～鷲ヶ岳～林道～湯の平温泉～大津

5:45 8:50 9:25 11:00 12:00-40 14:25 15:20-16:05 19:50

個人山行ですが一斉メールで全員に案内していただこうかなとも思いましたが、林道の状態がよく分からず駐車地点の不安もあり結局小人数で実施しました。

鷲ヶ岳への桑ヶ谷林道は途中から地道になり途中の空き地に停めましたが、想定より上まで行けたので半時間ほどで登山口に到着。ここまで1台来ていました。

ほぼ中間地点のいっぷく平には藤原頼保公鷲退治顕彰堂がありここで一服する。

ここまで来られるキャンプ場からの林道を使えばかなり時間短縮コースとなる。

ここからが急な丸太階段の始まりで標高差200mあまり1000段ほどを喘ぎながら登ったところが山頂だった。丁度正午に到着。360度の展望地で近くの大日ヶ岳やかすかに白山の雪渓が見られた。ここで集合写真後昼食休憩して下山する。

下りはきつい階段を慎重に。いっぷく平まで上がり林道で迂回して少し楽する。

2時半ごろ駐車地点へ。車で下りかけてまもなく雨から雷雨となり、下る途中で出会った数名は駐車場にあった2台だろうが下山途中で雷雨に遭っただろうな。

想定より早く下山できた我々は運も良かったです。天気予報はかなり信用できる。

雷雨の中を高鷲IC近くの湯の平温泉に浸かってから帰路に就く。



<個人山行報告> 北アルプス最深部 黒部五郎～雲ノ平

日時：2021年7月21日～25日

参加者；CLG阿弥・SL 川K・S水・G阿弥(ご主人)

行程；7/21 大津～折立 9:25～太郎平小屋 15:05～薬師峠 15:30(幕営)

7/22 薬師峠 5:25～太郎平小屋 5:50～北ノ俣岳 8:20～赤木岳 9:40～黒部五郎岳 13:35～黒部五郎小舎 16:45(小屋泊)

7/23 黒部五郎小舎 5:50～巻道分岐 7:45～三俣蓮華岳 8:40～三俣山荘 10:20～黒部川水源地標 11:30～祖父岳分岐 13:55～雲の平キャンプ場 14:50(幕営)

7/24 雲の平キャンプ場 6:30～高天原峠 9:25～高天原山荘 10:15～高天原温泉 10:35-11:15～高天原山荘 11:35-12:05～雲ノ平小屋 15:05～雲の平キャンプ場 15:40(幕営)

7/25 雲の平キャンプ場 4:40～薬師沢小屋 9:30-9:55～太郎平小屋 13:20-13:45～折立 17:30～帰滋

いつかは行ってみたいと思っていた雲ノ平！北アルプス最深部は中々機会が無いので、お誘い頂き喜んで参加！

《初日》折立から途中太郎平小屋で受付を済ませ、薬師峠キャンプ場へ。身体もまだ慣れていないので、テン泊荷物がずっしりと重く感じた。

《二日目》赤木岳を過ぎた後、今回初の雷鳥に出会い、直ぐに親子の雷鳥にも会い元気をもらった。その後いくつかのピークを越えた後の黒部五郎への上りはかなりきつく皆のペースも中々上がらず。カールへの分岐でザックをデポして黒部五郎岳のピークを踏み、その後はカール内を下って黒部五郎小舎へ向かう。途中から雨も降り出しこの日はテントを止めて、小屋に無理言って小屋泊に変更してもらう事にした。

《三日目》小屋でゆっくり出来たのが良かったのか、身体が慣れてきたのか調子は上向いてきた感じ…。三俣蓮華岳へ順調に登り三俣山荘で小休止。予定していた鷲羽岳は止めて、ここから直接雲ノ平に向かう事とする。黒部川水源地標まで下るとここからは急登の登り返し…。ようやく雲の平キャンプ場が見えたが、それからがぐるりと回って遠い事、遠い事…。キャンプ場は既にかかなりのテントが張られていたけど何とか場所を確保し、受付とビールの確保で往復50分かけて雲ノ平山荘へ…。明日は軽荷で高天原に行くだけなので気持ちは少し楽かな…。



《四日目》高天原の温泉に入るだけと簡単に考えていたら、流石に北アルプス最深部…簡単には秘湯には行けません(笑)って、何とか日本最奥の温泉、高天原温泉に到着。入浴や着替えやらで40分位で高天ヶ原山荘に戻り、カップラーメンを注文してエネルギー補給後、雲の平キャンプ場まで汗をかきかき戻った。

《最終日》今日は折立までの長丁場の下山となるので、少々不安…。昨晚の雨で木道が濡れていて、かなり滑りやすい状態に…。案の定、木道末端で転倒…。荷物が重くて起き上がれない。この先の薬師沢

小屋までの下りはゴロゴロの滑りやすい岩の連続で、今回の山行で一番大変やったかも…。薬師沢小屋で一息入れ、今度は太郎平小屋まで、ほぼ上り…。何回かの渡渉があり、ようやく太郎平小屋が見えた時はホッとした。小屋で各自ラーメンやうどんを注文して最後のエネルギー補給をし、折立に向かった。最後まで油断せず、気を張って17時半に無事下山！今回、毎日のように雷雨には見舞われたものの、それ以外は比較的晴れ間の多い毎日で、大変充実した山行だったので、ありがたかった。皆さんお疲れ様でした。
(記録：K嶋)



<個人山行報告> 滋賀労山 CSS 白滝谷沢登り

日 時：2021年8月1日(日) 曇時々晴れ

参加者：CLT内(彷徨倶楽部)・SLH野(比良雪稜会)・N森(彷徨倶楽部)・G阿弥(比良雪稜会)・K嶋(比良雪稜会)

行 程：堅田駅 7:30＝坊村駐車場 8:00-8:20～牛コバ 9:20～入渓点 9:30～夫婦滝 遡行終了点 13:50(下山道)～坊村駐車場 16:35＝解散

比良の沢登りの入門コースとの事で、昨年の奥ノ深谷以来、一年ぶりの沢登りに参加…。水量はそんなに多くなく、夏は沢登りに限る等と思いながら、気持ちよく遡行…。何箇所かの高巻きは少々危険な所はあるものの、慎重に行動すれば特に問題無し。ただ、ブヨ等の虫の多さには少々ウンザリで顔や首筋、腕に刺された跡が多数…。牛コバまでの下山道は少し荒れてはいたけど、無事に坊村の駐車場へ下山。午後からゴロゴロと雷が鳴っていたけど、最後まで雨にも降られず、楽しい沢登りの一日となりました。(記録：K嶋)



<個人山行報告>

岳沢～前穂～奥穂～徳澤園

参加者 CLH島・SLF野・F川・H浦・K林

7月31日(土) 堅田 6:00～上高地岳沢登山口 12:00～岳沢 15:00

8月1日(日) 岳沢小屋 6:30～紀美子平 9:30～前穂 10:30～紀美子平 11:10～
奥穂 14:00～穂高山荘 14:30

8月2日(月) 穂高山荘 6:00～涸沢ヒュッテ 9:00～徳澤園 14:00

8月3日(火) 徳澤園 8:00～上高地 10:30～堅田 17:00

台風の影響で天気予報は数時間毎に変化、出発までの一週間は浮かれたり凹んだり
で長かったです。【初日】岳沢小屋前でスクールのような雨、大急ぎで雨具上下を着
て小屋に駆け込む。雨後のテラスで初日のビール(+焼酎)。【二日目】重太郎新道に雨
の影響なし。8時を過ぎると奥穂方面からの下山者や後方からの登山者あり、それ
でも混雑とまではいかず鎖場も梯子も順調に超えて紀美子平に到着。空荷で登った前穂
は残念ながらガス。サービス精神旺盛な外国人男性に山頂写真を撮ってもらい、落石
に注意しつつ慎重に下山。再びの紀美子平から吊尾根へ。直後8人掛けテーブルを斜
めに立てかけたような一枚岩。二歩目で滑りそうになり四つ這いで戻る、メンバーの
アドバイスでなんとか通過(の私)。ルート間違えないよう慎重に進む中、突如足元
に雷鳥親子出現。慌てる様子もなく優雅に横切る。次第に濃くなるガスの中ただただ
続く岩場のトラバース。最後に鎖場を登るとやっとやっとの奥穂山頂、途端に遠雷。快
晴ならゆったり楽しみたかった山頂を数分で切り上げて山荘に向かう。きっちり一時
間後、穂高山荘前で二日目のビールを飲み始めた途端響いた爆音。その瞬間F野さん
は避雷針に向かって真横に走る稲妻を見たそうです。【三日目】小屋の裏から荒々しく
そそり立つジャンダルムの姿を目で楽しみ、正面の美しいパノラマに向かって雪溪の
残る道を下山開始。一週間前に滑落事故のあったザイテングラードを慎重に超えて一
息の珈琲タイム、涸沢ヒュッテではおでんタイム。その後の登山道には老若男女ひっ
きりなし(比良雪のHさん、Kさんとも遭遇)、ザックが肩に重く感じ始めた徳澤園着、
素通りではなく宿泊!うれしい。入浴してさっぱりした後の夕食はサーロインステー
キをはじめとする豪華ディナーに大満足。【四日目】宿から上高地まで堪能し岐路につ
く。(記録 K林)

〔一口感想〕

ザイテングラートを終えて岩稜上で飲んだコーヒーが最高でした。徳澤園の食事も素晴らしかったです。(H島)

岳沢小屋から穂高岳山荘までは非常にタフで厳しいコースだった。おそらく同じコースを歩くことはないものと思う。

厳しいコースだがしっかり三点支持をしていれば問題ないが、ロングコースゆえに気のゆるみからくる遭難が絶えないものと思われる。

穂高岳山荘前での雷には度肝を抜かれた感じ、山荘周辺で雷の様子もないのに突然目の前を稲妻が横に走りびっくり。これが一番怖かったかな。(F野)

出発迄はハラハラ・ドキドキの天気予報でしたが、行ってしまえば3時過ぎからの雷雨で濡れたのも1回きり多少のガスもご愛嬌(・・)

岳沢小屋から前穂高岳、奥穂高岳、穂高山荘までの大変な道のがヤママップで見ればたったの4キロ！ うーん、登山はキロ数では無いと実感。このしんどさは数字では表せない。

ザイテングラードは苦手な道で出だし腰が引けてしまいました。

藤野さんの見た避雷針に落ちる雷、私も見たかったあ。

後、徳沢園の夕食は美味しかった。あれはディナーと呼ばねば西穂と北穂にも行ってみたい・・・無理かな？

和気あいあいとした楽しい4日間、皆さんありがとうございました。(H浦)



<個人山行報告>

北穂高岳

日 時 2021年8月1日～5日

参加者 CLT中啓・SLH池（記録）

1日 京都駅15:00（新幹線ひかり、特急しなの）＝松本18:00

2日 松本5:30（バス）＝上高地（7:00～7:45）～横尾（10:45～11:30）～涸沢ヒュッテ15:00

3日 涸沢ヒュッテ7:00～北穂高小屋11:30

4日 北穂高小屋7:00～涸沢ヒュッテ（10:00～11:00）～横尾山荘15:30

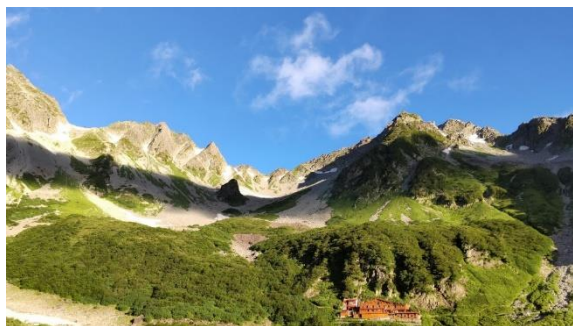
5日 横尾山荘7:00～上高地10:00（バス）＝新島々（松本電鉄）＝松本＝特急しなの、新幹線で帰滋

体力、技術のなさをカバーできるよう、贅沢に行ってきました。

1, ころころ変わる不安定な天気なので、良い日程を狙って、臨機応変に決める。当初7月24日出発としましたが、朝見た予報が悪くなっていて、延期。そして、8月1日の朝、突然予報が好転し、今度は急遽出発。無職の2人なのでできること、現役の皆さんには申し訳ないです。

2, 午後電車で行く。その日の朝まで天気を見極める。駅前のビジネスホテルでゆっくり睡眠。

3, 余裕の行程。どんなに遅く歩いても良いように、特に北穂高小屋は、12時までに着く計画。のんびり休憩し放題、景色見放題。それでも、4日の下山は苦手でへとへと。無事に行けて大満足。北穂からの眺めは、大キレット、槍が岳、迫力の滝谷、常念山脈の鮮やかな色彩、遠景に南アルプスと富士山。3年ぶりの北アルプスを堪能しました。



（涸沢小屋の背後に北穂高岳）

<寄稿>

新型コロナウイルスに関する最近の状況

N野

新型コロナウイルスに対するワクチン接種が2021年6月から65歳以下の人も対象となり接種が進んでいます。しかしながら、新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に各都道府県で過去最高を記録し続けており、8/21現在25,800人/日に達しているのが現状です。重症者も1,800人超となり、コロナ患者を受け入れる病院は逼迫しており、軽傷～中等症患者約9,700人は自宅待機になっています。

新型コロナウイルス感染を防ぐ為の切り札として登場したワクチンは、日本ではm-RNA ワクチンとしてファイザー社製とモデルナ社製、さらにアデノウィルスベクターワクチンとしてアストラゼネカ社製が承認されて使用されています。

これらのワクチンは現在猛威を振るっているインド由来のデルタ株に効果があるのかどうか？ワクチンの効果を判定する方法は2つあり、1つ目は実際にワクチンを接種された人に対する疫学調査です。これは抗体（液性免疫）と細胞障害性T細胞（細胞性免疫）、さらに自然免疫まで含めた総合的な免疫に対する評価である。2つ目はワクチン接種した人の血液中の抗体が変異株の感染を阻害できるかを評価する方法です。

m-RNA ワクチンは液性免疫と細胞性免疫の両方を誘導するので、両方の免疫効果を評価すべきです。新型コロナウイルスに感染して回復した人には必ず中和抗体が出来る為、中和抗体の有無での評価はワクチンの有効性を正確に調べる方法と言えます。

ワクチンを注射した時に起こる副反応はどうして起こるのか？m-RNA ワクチンは細胞にとっては異物なので、Toll様受容体(TLR)を介した自然免疫系が活性化し、炎症性サイトカインを産生させてしまいます。これが副反応の原因になります。現在、m-RNA を画期的に修飾するヌクレオシドの開発により TLR 刺激の抑制に成功し、副反応はかなり抑制されました。

ワクチンの供給量は足りているのか？高齢者に関しては1回目の接種終了は81.0%、2回目の接種終了は55.7%です。日本全体でのワクチン接種完了率（2回目完了）は7月中旬で約20%です。今後、大学などや職場単位でのワクチン接種や自治体などでのワクチン接種が進んで来るものと思われます。ワクチンの安定供給に目途が立ち、今後は治療薬の開発に注目が集まっています。中和抗体も新型コロナウイルスの治療薬として注目され、軽症から中等症に投与して重症化を防ぐことが期待されています。私たち山の会では、ワクチン接種後は不要不急の移動をなるべく控えて、第5波の感染拡大が収まるまで感染対策を徹底して状況を見守る必要があると思われます。

<第4回リーダー部会議事録>

日 時 8月17日(日)

場 所 和邇文化センター内 和邇コミュニティーセンター 第三会議室

出席者 H野・H島・N村高・H部・I村・N尾・K藤・N野・G阿弥・K原
T中啓・H池

議題1 例会実施状況（ヒヤリハット）

- ・夜叉ヶ池 特になし。
- ・京都トレイル(2) 雨天中止。
- ・別山 コロナ「まん延防止措置」対応により中止。

議題2 2021年9月～11月の例会計画

開催日		テーマ・山域	内容・コース	担当者	レベル	備考
9月	19日(日)	鈴鹿山系	雨乞岳	H島	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★☆☆	
10月	2日(土)	ちよつこと山行	東ヶ谷山	K藤	体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆	
	24日(日)	登山祭典 兼秋の野点	赤坂山～三国岳～ 黒河峠	N村	体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆	
	31日(日)	水質検査 放射線測定	2コース	N村 K藤	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★☆☆☆	交流 山行
11月	7日(日)	朽木(鯖街道) 紅葉	焼尾地藏～根来坂 ～池の地藏	H島	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	
	21日(日)	大文字山	山科～銀閣寺	H池	体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆	

※コロナウイルスの状況により、中止または延期となる場合があります。

議題3 例会山行計画について

コロナウイルスの影響もあり、例会山行が計画しづらい状況となっています。上記以外に例会が計画された場合は、会員全員にメールにより情報を配信します。

今後の例会計画について話し合い、次のような意見が出ました。

- ・担当する例会について、目標回数を設定する。

(例えば一人当たり年2回実施する。)

- ・個人山行について、可能であれば会員全員に参加募集をし、例会とする。

- ・一般会員についても例会を企画していただき、リーダーがサポートする。

充実した例会実施のため、協議を継続します。

議題4 コロナウイルス「まん延防止措置」等についての対応

「緊急事態宣言」、「まん延防止措置」が発令されている期間については、例会を中止します。

次回リーダー部会は、10月20日(水)です。



2021年9月予定表

1	水		19	日	例会 雨乞岳
2	木		20	祝月	敬老の日
3	金		21	火	
4	土		22	水	「ぶな」原稿締切
5	日		23	祝木	秋分の日
6	月		24	金	
7	火		25	土	
8	水		26	日	
9	木		27	月	
10	金		28	火	
11	土		29	水	
12	日		30	木	
13	月		編集後記 コロナ感染がますます拡大する中、異常気象による天候不順・・・山行の計画も立てにくく、いつもにない8月でしたね。 初めての編集でしたが、皆さんから「出来ることがあったら手伝いますよ」と声をかけていただき、たくさん原稿を送っていたので、何とか形になりました。 次号もがんばりますので、引き続きご協力をお願いします。 <div style="text-align: right;">S水</div>		
14	火	第6回運営委員会			
15	水				
16	木				
17	金				
18	土				
10月の予定					
2	土	例会 東ヶ谷山			
24	日	登山祭兼野点 赤坂山～三国山～黒河峠			
31	日	飲み水水質調査・放射線測定 比良2コース			



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>